

＜滋賀県農業共済組合長賞（銅賞） 2年生の部＞



「あつたらしいな、こんなくらし」

大津市立膳所小学校 森口桜さん

[講評] ~ 審査員の先生より ~

左右対称でバランスのとれた構図からは、人間、動物、自然が調和した世界が感じられます。画面には、トウモロコシにスイカ、そしてトマトといった豊かな実りが描かれています。作者や動物たちが皆笑顔で暮らす様子は、自然の恵みに囲まれた幸せな生活への、純粋で温かい憧れを、可愛らしくも細やかに表現したものです。

＜滋賀県農業共済組合長賞（銅賞） 2年生の部＞



「手にいっぱいのイチゴ」

草津市立志津小学校 伊藤 琉生 さん

[講評] ~ 審査員の先生より ~

両手からこぼれ落ちそうなほど、たくさんのイチゴが描かれています。よく観察すると、瑞々しい表面には粒々とした果実があり、一つとして同じものはない個性的な形をしていることがわかります。この絵からは、一粒一粒への感謝の気持ちと、これから味わうことへの純粋な喜びが、見る者にも強く伝わってきます。

＜滋賀県農業共済組合長賞（銅賞） 2年生の部＞



「おばあちゃんのはたけすがた」

長浜市立長浜北小学校 吉川めいさん

[講評] ~審査員の先生より~

まず目を引くのは、斜めで空間に広がりが感じられる構図です。そして近づいて見ると、絵の具の丁寧な混色によって、何種類もの微妙な緑色が創り出されていることに気づかされます。これにより、夏の畠の様子が奥行きをもって細やかに塗り分けられています。夏の緑の持つ豊かさが鮮やかに表現された、色彩感覚あふれる作品です。

＜滋賀県農業共済組合長賞（銅賞） 4年生の部＞



「おじいちゃんと育てた大きななす」

滋賀大学教育学部附属小学校 安田 優聖 さん

[講評] ~ 審査員の先生より ~

大きく中央に描かれたなすの株と、鮮やかな濃い紫色のなすの実が目を引きます。描かれた二人の姿勢から、ていねいに作業している様子が伝わってきます。夏の畠の活気と、収穫の喜びを素直に表現している、明るい作品です。

＜滋賀県農業共済組合長賞（銅賞） 4年生の部＞



「田んぼの四季」

守山市立守山小学校 尾田 蒼宙 さん

[講評] ~ 審査員の先生より ~

「田」の字の太く黒い枠線が、それぞれの区画にある風景や、おにぎりを際立たせています。背景で四つの季節を表し、見る人に米の成長を表していることに気付かせるというユニークな発想が素敵な作品です。

＜滋賀県農業共済組合長賞（銅賞） 4年生の部＞



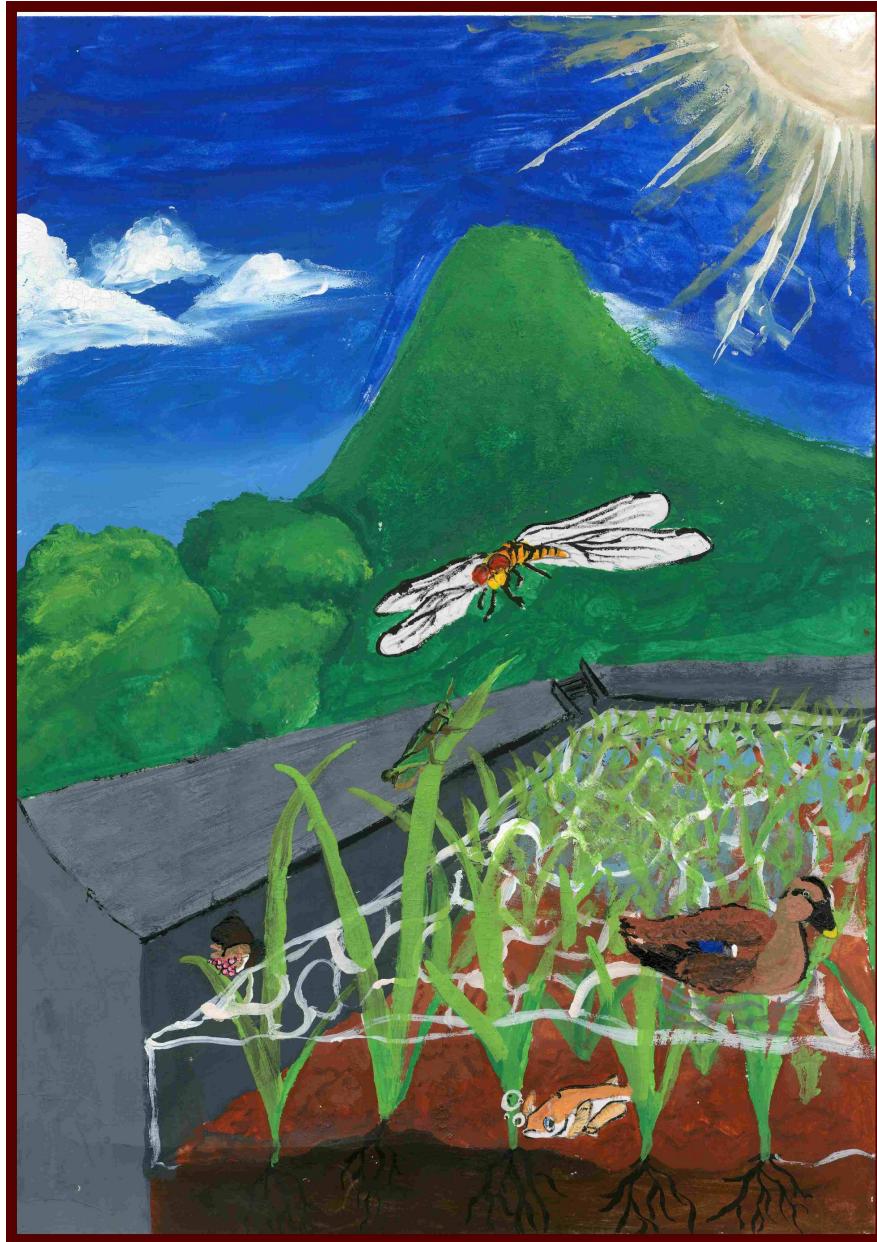
「しぜんと畠」

愛荘町立愛知川小学校 福原陽菜さん

[講評]～審査員の先生より～

茶色い土と生き生きとした緑色、そして空の青色が夏の畠の雰囲気をよく表現しています。特に、スイカの縞模様や、柵の木の組み方が丁寧に描き込まれていて、作者の農業に対する興味の深さが伝わる作品です。

＜滋賀県農業共済組合長賞（銅賞） 6年生の部＞



「田んぼにすむ
生き物たち」
滋賀大学教育学部附属小学校
古賀智理さん

[講評]～審査員の先生より～

太陽に照らされながら、田んぼの中で懸命に生きている生き物たち。色を重ねて表現することで、生き物の生命力や躍動感がより感じられます。画面を断面で見せることで、今にも飛び出してきそうな素敵なお絵かきになりました。

＜滋賀県農業共済組合長賞（銅賞） 6年生の部＞



「牛を世話するおっちゃん」

守山市立守山小学校 鈴木 晴仁 さん

[講評] ~ 審査員の先生より ~

笑顔で牛を撫でている表情や首を伸ばしている牛の構図から、愛情を持って育てていることが伝わってきます。牛の毛並みや影の表現などをこだわることで、温かさを感じられる素敵なお絵かきになりました。

＜滋賀県農業共済組合長賞（銅賞） 6年生の部＞



「たくさんの動物たち」

東近江市立能登川東小学校 高木 源治 さん

[講評] ~ 審査員の先生より ~

こちらを見つめる牛と自由に走りまわる鶏や豚を1つの画面に収めることによって、にぎやかさや畜産の多様性を表現できています。生き物の生命力や楽しさが感じられる素敵な作品に仕上げることができました。